

（国立教育政策研究所・教育研究所情報データベース「学習指導要領の一覧」

<https://erid.nier.go.jp/guideline.html> より、むらきが作成、欄外に付記）

年度別 学習指導要領	「家庭科」における製作例
------------	--------------

1947 学習指導要領家庭科編（試案）—小学校では男女共に課すべき家庭科。

昭和 22 年版 「試案」	<p><第五学年 運針、ぞうきん。(女) 前掛 (女) 下ばき (女) シャツ></p> <p><第六学年 (女) 運動服 (女) 寝まき又はじゅばん ></p> <p><第七学年 (女) 夏着物—ワンピースドレス></p> <p><第八学年 (女) ツーピースドレス、単長着。スモック、編み物></p> <p><第九学年 仕事着 (和式仕事着 (上衣 二部式あわせ・下衣 様式を基礎として工夫するか、またはもんぺ)、洋式仕事着 (上衣、下衣 (ズボン)、エプロン。半幅帯、羽織、ドレス (第七年、第八年に同じ) ></p>
昭和 24 年 高等学校用	<p>修繕、更生。自分の平常衣 (スカート、ブラウスまたはワンピースドレス)。</p> <p>家族の平常着 (長着)。帯、下着 (スリッパ・ブラジャー・コーセット・ズロース・じゅばん)。くつ下・手袋。ツーピースドレス、あわせ、おとこあわせ、あわせ羽織、ワイシャツ (開きんシャツ, ジャンパー)。女児服 (ロンパース・ワンピース・ブラウスとスカート, またはズボン・エプロン・パジャマ等)。男児服 (ロンパース、ブラウス、上衣 (セーラー型, ステンカラー, 背広えり等)、セーター・チョッキ></p> <p>自分の平常着 (スーツ (またはコート)、和服コート。</p> <p>家族の被服 (男子用ズボン、丹前、乳児服、編み物 (ケープ、下ばき)、寝具、座布団 ></p>

昭和 26 年版 第一次改訂 中学校	<p>農村女子向き課程の例：ワンピースドレス。スリッパ、じゅばん、ひとえ長着またはワンピースドレス。幼児用 (エプロン、幼児服)。ブラウス、スカート。ねまき。</p> <p>選択教科：作業着 (かっぱう服)、上っぱり、野ら着。はんでん、スエーター、羽織下、手袋・たびカバー、座布団。ジャケット。</p> <p>商業地域女子向き課程の例</p> <p>第一学年：ワイシャツまたはひとえ長着。裁縫・ししゅう・編み物・染物</p> <p>第二学年：ブラウス・スカート、ねまき</p> <p>第三学年：ジャケット・仕事着・洋裁デザイン。乳幼児の被服</p> <p>選択教科：ブラウス・スカート</p>
--------------------	--

小学校・昭和 31 年度	簡単なつくろい、ボタンやスナップつけ。日常用品(ぞうきん・台ふき・ふくろ・前かけの程度)
高等学校・昭和 31 年度改訂版	ブラウスとスカート。ワンピースドレス。ジャケット(またはポレロ, またはトッパ)
中学校・昭和 32 年度改訂版	裁縫…ブラウス・スカート・ワンピース・スラックス・ポレロ・ひとえ長着・あわせ長着・羽織, こどもの衣類など 編物…手袋・ソックス・セーター, こどもの帽子・花ぐつ・ケープなど 手芸・染色…テーブルかけ・かびんしき・さらしき・のれん・ふろしき・手さげ袋・カラー・ぬいぐるみおもちゃなど

<高等学校学習指導要領 一般編 昭和 31 年改訂版(昭和 33 年 4 月再訂版)>

全日制の普通課程 (イ) 女子については、「家庭科」の 4 単位を履修させることが望ましい。>

1958 中学に技術・家庭科設置。男子向き、女子向きに分かれる。

1958 (昭和 33 年に文部省告示として「官報」に掲載、以後、現在にいたる)

1963 高校「家庭一般」が原則として女子必修に。

小学校・昭和 33 年改訂 文部省告示	第 5 学年 布と糸や針を用いて簡単な日常用いる身のまわりのものを作らせ、製作に関する初歩的な「知識や基礎的な技能を身につけさせる」 ボタン・スナップ・ほころび。台ふき・袋類。手縫いの基礎、ミシンの扱い方。簡単な刺繍
中学校・昭和 33 年(1958)改訂版	第 6 学年 カバー類、前かけ。女子は夏着(簡単な上着またはスカート) 女子向け 第 1 学年：ブラウス, スカート類。 第 2 学年：休養着(ひとえ長着女物またはパジャマなど。)ししゅう…手さげ袋, テーブルクロス, エプロンなど。 第 3 学年：ワンピースドレス類
高校・昭和 35 年 10 月施行	日常着の縫製 (例) ワンピースドレス・ひとえ長着・ツーピースドレス・作業服・こども服など

小学校・昭和 43 年 7 月	第 5 学年：布と糸や針を用いて簡単な身のまわりのものを作らせ
中学校・昭和 44 年 4 月	第 6 学年：簡単なカバー類 女子向き 第 1 学年 活動的な日常着・ブラウス、スカート 第 2 学年 休養着(パジャマ)、刺繍・編み物・染色 第 3 学年 日常の外出着(ワンピースドレス)
高校・昭和 45 年 10 月	スーツ, 長着, はおるもの, 休養着, 乳児服

1973 高校「家庭一般」、女子のみ必修、男子は体育 4 単位増。

小学校・昭和 52 年	第 5 学年 簡単な小物及び袋
中学校・昭和 52 年 7 月	第 6 学年 簡単なカバーやエプロン、ししゅう
高校・昭和 53 年	第 1 学年：作業着（スモック）、 第 2 学年：日常着（スカート）、 第 3 学年：休養着（パジャマ）。ししゅう・編み物・染色 洋服の製作、和服の製作、手芸品の製作

小学校・平成元年 3 月	第 5 学年：簡単な小物及び袋を製作
中学校・平成元年 3 月	第 6 学年：簡単なエプロンやカバー類 日常着及び簡単な手芸品
高校：平成元年 3 月	「細部にわたる事柄や程度の高い理論に深入りすることのないよう」「洋服の製作」「和服の製作」

1985 女子差別撤廃条約批准

1988 小・中の指導要領改定。中学は 1993 年度より、技術、家庭各領域を男女の別なく選択必修とする。

1989 高校の指導要領改定。高等学校家庭科の男女必修化

1994 年度より「家庭一般」は男女とも必修に。

小学校・平成 20 年 3 月	「ボタン付けや洗濯ができること。」「布を用いて製作する物」
中学校・平成 20 年 3 月	「日常着の手入れ（洗濯と補修）ができること。」「布を用いた物の製作」
高校：平成 21 年 3 月告示	主として専門学科において開設される各教科 第 5 節 家庭 [普通科における例示見あらず]

[平成 29, 30 年は小中高とも平成 20, 21 年度とほとんど変わらず、製作の例示もないので略]